

開講科目名 Course	会計学特別研究1年（金融論） / Research Studies
時間割コード Course Code	40212
開講所属 Course Offered by	会計学研究科博士前期課程 /
開始年度・学期 Start Year・Semester	2022年度 / Academic Year 前期
曜限 Day, Period	木 / Thu 4
開講区分 semester offered	通年 / .
単位数 Credits	4.0
学年 Year	1
主担当教員 Main Instructor	羽田 徹也
科目区分 Course Group	研究演習科目
教室 Classroom	1 3 G 演習室, 6 5 C 演習室
講義形式 Lecture Style	演習科目
担当教員名 Instructor (担当教員所属名 Affiliation)	羽田 徹也（経済学部）
授業の目標	金融論に関する研究を行いながら修士論文を完成させることを目指します。修士論文完成に向けて準備や執筆を行う過程で、研究テーマに関する理論的枠組みや分析方法を確立させるとともに、金融現象を深く洞察できる研究能力を養います
授業の概要	1年次には文献（先行研究論文）講読や報告を行いながら、自身の研究テーマに係る理論的枠組みを確立させます。2年次にはデータの加工・分析、文章の執筆・推敲に取り組み、修士論文を仕上げていきます。修士1年及び修士2年の演習は合同で行います。 原則、毎時間一人の学生が責任をもって報告を担当します（報告希望者が複数の場合は2人以上の報告も可能）。報告者以外の参加者は報告内容のディスカッションに参加します
評価方法	出席状況、報告内容、議論への参加度により成績を判断します。報告や討論に主体的に取り組んでいるかを評価します
教員の指導に従わない以外の事由による失格基準	原則、全ての演習に参加することが成績評価の必要条件です
授業計画	1回目に今後の演習の運営方法を共有し、報告の順番を決めます。 2回目以降は、修士論文に関する報告と報告に関するディスカッションを行います
テキスト	
参考書	適時、参考論文や参考文献を紹介します
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等	含む
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等の内容	修士論文に関する報告および報告に関するディスカッション
実務経験のある担当教員による授業	該当する
担当教員の实務経験を活かした授業の内容	日米金融機関において、為替ディーラー、債券トレーダー、金融市場のストラテジストを経験した教員が、金融経済に関する理論と金融実務現場の関連性を、大学院での研究活動およびビジネス現場経験を踏まえて解説する科目である
質問への対応方法	質問は演習中に随時対応します
フィードバックの方法	演習中に随時フィードバックを行います
予習・復習等、準備学習の内容及び時間	修士論文に関する報告の準備
使用言語	日本語
SDGs 17の目標（1～10）	

SDGs 17の目標（11～17）	
PROGリテラシーの要素	
PROGコンピテンシーの要素	